



## 検診のポイントはここです！！②

前号からお伝えしている検診のチェックポイントの続きです。  
前号を見逃してしまった方はご用意しますのでお声をかけてくださいね。  
もう一回言います。

**痛みがないからといってサボっていると、  
後々大変な事が起こるリスクは高くなりますよ！  
ぜひ、積極的に検診を受けましょう。**



### ☆検診のチェックポイント

#### ・Br（ブリッジ）が入っている方

ブリッジとは自分の歯を支台にし、失ってしまった部分を「ポンティック」というダミーの歯で補う補綴物です。ポンティックには3種類の形態があるのですが、いずれもご自身の歯よりも清掃が難しく汚れが溜まりやすい部分です。汚れが溜まってしまうと、ブリッジの支台になっている歯が虫歯になるリスクが高くなります。掃除の方法の確認とクリーニングをおすすめします。



ブリッジは全部一つに繋がっているため、糸ようじを入れることができません。  
よって歯間ブラシまたはスーパーフロスという変わった糸を使います。



#### ・入れ歯が入っている方

入れ歯は使っていくうちに人工歯がすり減るなどして、知らないうちに咬み合わせが狂ってしまうことがあります。そのまま使っていくと、割れたり欠ける原因につながります。入れ歯にも歯石がつきます。クリーニングは本物の歯ではありません。超音波洗浄器にて専用薬剤を使用した義歯洗浄がございますので、ご希望の方はお声をかけてください。（自費扱い 2000円）



#### ・インプラントが入っている方

インプラントを入れたら、永久的に抜けない！と考える方が今も時々いらっしゃいますが、大きな間違いです!!  
インプラントも入れたまま放っておけば、歯周病と同じように周囲の組織（歯肉や歯槽骨）が感染していきます。しっかりメンテナンスを受けることで長持ちするので、インプラントの方はこまめに検診を受けましょう。

# 定期検診を受ける理由ってなに??



治療が終了してから数ヶ月すると薄いピンク色のお手紙が届いているかと思います。

そうです、定期検診をお知らせする当院からのお手紙です。

定期検診の間隔は、どういう内容で今まで治療をしてきたかを参考にご本人様と相談の上で

「3ヶ月後に診せてください」や「とても状態が良いので半年後にお手紙をお送りします」と言う風に決めていきます。

やはり、歯ブラシの当て方を修正されたり、今まで使っていなかった糸ようじや歯間ブラシを使うように言われても、しばらく経てばまた元通りになりやすくなるものです。

それをまた修正するのが定期検診の大切なところでもあります。

みなさん何度も少しずつ修正をして、ご自身だけで歯も歯肉も良い状態に近付け、そして維持に努めていらっしゃいます。

検診の時最初にやる歯肉の検査も、前回拝見した時の修正が反映されたかどうかの結果を見るためのものでもあるのです。

検査の結果だけでなく、どんな内容の修正やお話しをしたかの記録も残していますので、次回の定期検診でいらした時には前回からの続きをスムーズに行っています。

前号から連載で定期検診のポイントをお知らせしてきましたが、実際に私が担当している患者さんの中でも、治療が終了してから最後に診せて頂いた時、すでに虫歯ができてしまっている方もいらっしゃいます。



前号にも載せましたが、一度くっつけた金属と歯との境目から再び虫歯ができていました。原因はもちろんこの部分の磨きグセが直らず（もしくはケア自体が向上せず）にいたので前と似たような所から虫歯が再発してしまいました。

この後は先生に金属を外してもらって金属を作り直し装着しました。

もし、定期検診を受けずこの再発した虫歯に気づくことができないままいたら、

虫歯は金属の下で進行し、神経がある歯の場合は神経を抜くところまで進行するでしょうし、早期発見・早期治療ができず大掛かりな処置になっていたと思います。

いくら早期発見・早期治療ができたとしても、やはりそもそも虫歯ができない状態、歯周病が進行していない状態をキープするのに越したことはないですね。

そのためには、ご自身でのケアがきちんとできるようにするのが一番です。

痛くなくても、何もなくても本当に大丈夫なのかの確認にいらしてくださいね！



## 夏季休診日のお知らせ

平成30年8月11日（土・祝） ～ 平成30年8月16（木）



### 小高歯科クリニック

足立区綾瀬2-26-15  
03-3604-6222



月・火・水・金  
土  
昼休み  
休診日

9:30~18:30  
9:30~16:00  
13:00~14:00  
木・日・祝日